北　陸　支　部　報

2022/8/16
第　18 号

「UAV を用いた空中写真測量」

「UAV 取得データを用いた災害地の計測と調査」

目　　次

令和４年度北陸支部業務報告会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
令和４年度北陸支部役員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
公共測量品質管理優秀賞２社を表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
令和４年度北陸支部空間情報技術事例発表会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
令和４年度北陸支部事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
行事等の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
会員の増減状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

公益社団法人
日本測量協会　北陸支部

令和４年度　北陸支部業務報告会

北陸支部では、７月１２日（火）に福井市の「福井県国際交流会館」において、令和４年度北陸支部業務報告会を開催しました。

この報告会は、平成２６年度から会員の皆様が業務報告会に参加しやすい環境を整備するためにより近い場所で開催することにしております。新潟県、富山県、石川県、福井県と順次開催を行っており、各県を一巡し今回の福井県で２回目の開催となりました。

鹿田支部長から挨拶の後、日本測量協会廣田測量技術センター所長から本部挨拶と現状報告があり、昨年度も順調に業務が遂行されていること、新型コロナ対応や電子を利用した各種手続きの迅速な対応を求められている事を踏まえ書面決議等において電磁的方法を加えること等の説明がありました。

この後、事務局から令和３年度支部事業報告の要旨及び令和４年年度の事業計画の要旨及び収支状況と予算について説明と報告を行いました。

また、令和４年度の役員については、一部の測量設計業協会に役員改選等があったことから新しい役員が選出された事を報告しました。

支部長挨拶（業務報告会）

鹿　田　正　昭

本日は公益社団法人日本測量協会北陸支部令和４年度業務報告会にご多忙のところご出席をいただきありがとうございました。また、協会本部からは廣田三成測量技術センター所長様にご出席をいただきました。ありがとうございます。

日ごろは支部役員および会員の皆様方にはいろいろとご支援およびご協力をいただいていますことに深く感謝申し上げます。

現在も感染症の拡大に注意しなければならない状況が続いていますが、時間短縮など感染症に最大限の注意を図り、対面で実施することになりました。参加者におかれましては「密」を避けていただき、感染しない、感染させない、を念頭にご協力をお願いいたします。

さて、６月 24 日に開催された協会本部総会の事業計画を要約しますと、

第一として、測量技術者の会員団体として測量技術および地理空間情報に関連する諸問題の調査を積極的に進めること、機関紙月刊「測量」およびホームページの充実、各種出版物の刊行、イノベーション大会の開催など、地理空間情報の普及発達に努めることなどが記されています。

第二として、専門技術者の教育研修として、空間情報総括監理技術者資格制度および地理空間情報専門技術認定制度の充実、サーベイアカデミーなどの講習会を積極的に推進し、測量専門技術者の社会的地位の向上に努めること、また測量系ＣＰＤの普及に努めることなどが記されています。

第三として、測量業務の環境変化と顧客ニーズに的確に対応しつつ、測量機器の検定、測量成果の品質確保のための検定、測量・地理空間情報コンサルタント業務に関する調査研究の推進に努めることが記されています。

北陸支部では平成 26 年度から北陸支部会員の若手・中堅技術者が携わった業務内容を発表できる機会である「北陸支部　空間情報技術事例発表会」を開催し、最優秀賞の論文は本部の査読付きの「空間情報事例報告集」に投稿していただいています。今年度は２巡目の福井県開催ということになります。

「空間情報技術事例発表会」は若手技術者の研鑽および北陸支部会員法人の技術力向上を目指しているものであり、多くの企業からの参加を期待しているところです。また、「空間情報事例報告集」への投稿論文は空間情報総括監理技術者試験の資格要件にある「査読付き論文」として評価されます。今年は福井県内企業の４件に加えて地元の福井高等工業専門学校から学生の方２件のご発表をいただくことになっております。

また、この後の事業報告会の報告事項につきましては、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

最後になりますが、ご出席の皆様方のご健勝とご活躍を祈念して開会のご挨拶とします。　本日はご出席ありがとうございました。

令和４年度　北陸支部役員名簿

支部長	鹿田正昭	金沢工業大学	副学長
副支部長	市森友明	（一社）富山県測量設計業協会 （株）新日本コンサルタント	会長 代表取締役社長
〃	新家久司	（一社）石川県測量設計業協会 （株）国土開発センター	会　長 代表取締役社長
幹事長	中西誠一郎	（一社）福井県測量設計業協会 （株）帝国コンサルタント	会長 代表取締役社長
幹事	山岸陽一	（一社）新潟県測量設計業協会 （株）山岸測量事務所	会　長 代表取締役社長
〃	荒井隆二	（一社）新潟県測量設計業協会 荒井測量設計(株)	副会長 代表取締役社長
〃	大塚隆	（一社）新潟県測量設計業協会 （株）アイテック	副会長 代表取締役社長
〃	佐治力	（一社）新潟県測量設計業協会 新潟県上越国土測量（株）	副会長 代表取締役社長
〃	鷲北慎一	（一社）富山県測量設計業協会 北建コンサルタント（株）	副会長 代表取締役社長
〃	寺島雅峰	（一社）富山県測量設計業協会 （株）寺島コンサルタント	副会長 代表取締役社長
〃	磯野秀和	（一社）石川県測量設計業協会 （株）北日本ジオグラフィ	副会長 代表取締役社長
〃	黒木康生	（一社）石川県測量設計業協会 （株）日本海コンサルタント	専務理事 代表取締役社長
〃	毛利茂則	（一社）福井県測量設計業協会 ジビル調査設計（株）	副会長 代表取締役社長
〃	吉田直人	（一社）福井県測量設計業協会 （株）第一コンサルタンツ	専務理事 代表取締役社長

公共測量品質管理優秀賞２社を表彰

日本測量協会は、令和３年度に実施した公共測量成果（基準点測量、地図作成）の検定において、品質（品質管理）が特に優れていたと認められる作業機関（測量会社）３５社を６月１７日発表しました。

「品質管理優秀賞」の表彰制度は、平成１７年４月「公共工事の品質確保の促進に関する法律（品確法）」の施行を機に、測量成果の品質確保および測量会社の技術力向上につながることを期待し、当協会が創設したものです。

測量成果の検定については、国や地方公共団体等が発注する公共測量は、「公共測量作業規程の準則」の中で「高精度を要する測量成果又は利用度の高い測量成果で、計画機関が指定したものについては、検定に関する技術を有する第三者機関による検定を受けなければならない。」と規定されています。これにより、公共測量として実施される大部分の測量作業の測量成果が検定の対象となります。

今年、北陸地区では、基準点測量部門において京福コンサルタント（株）（小浜市）様、（有）武田測量設計事務所（鳳至郡能都町）様が初の受賞になりました。

表彰は、７月１２日の北陸支部業務報告会に引き続いて授賞式を行い、廣田測量技術センター所長から記念の楯と副賞が手渡されました。

公共測量品質管理優秀賞者の方々

令和４年度　北陸支部空間情報技術事例発表会開催

令和４年度公益社団法人日本測量協会北陸支部空間情報技術事例発表会は、福井市の「福井県国際交流会館」において、業務報告会に引き続いて出席者約７０名で行われました。

冒頭、鹿田支部長のから優秀賞を受賞された方には、本部が扱う空間情報技術事例報告集への投稿をオブリケーション（義務）としたいと挨拶があり、その後６名の発表者から、自身が体験した測量作業等について発表していただきました。各自発表時間１５分、質疑応答５分という制約の中で、発表のまとめ方や質問対策等大変苦労されたことと思います。

全ての発表が終了した後、審査結果が出るまでの間、国土地理院北陸地方測量部の横川測量課長様から「公共測量における測量技術への取組」と題して講演をして頂きました。

審査員の方々は、別室にて発表者４名の発表内容について審査、得点集計、意見交換に移り入賞者の選考を確認しました。

今回の審査は、これまでと同様に、①発表の着眼性、②まとまり具合、③発表資料の分かり易さ、④質疑応答に対する的確性、⑤時間の適正・話し方・態度の５項目による評価基準により行なわれました。

審査の終了後、鹿田支部長の開会の挨拶に始まり、国土地理院北陸地方測量部伊藤部長から来賓の挨拶。成績発表が行われ、最優秀賞に京福コンサルタント㈱

の松宮玄尚さん、優秀賞に㈱サンワコンの萩原春親さんが選ばれ、両名に賞状と記念品が贈呈されました。続いて審査員の福井高等専門学校辻野和彦教授から発表会の講評がありました。
今回の発表会は、産学の交流の一環として福井高等専門学校の学生さんも参加されました。

お忙しい中、発表にご協力いただきました会社の皆さん、審査のご協力をいただきました審査員の皆さん、本当に有り難うございました。
　来年は新潟県での開催を予定しておりますので、積極的な応募をお待ちしています。

空間情報技術事例発表会プログラム

◎発　表

『高精度な三次元点群データを用いた地形の面的変状解析』
(株)サンワコン　　萩原　春親

『農業土木分野における３Ｄモデルの活用事例』
丸一調査設計(株)　　石井　翔大

『３次元設計に向けての地形データ作成』
(株)帝国コンサルタント　森下　徳雄

『スマホを用いた３次元計測の活用について』
京福コンサルタント(株)　　松宮　玄尚

『道路パトロール車の車載カメラを用いたひび割れ抽出とAIによる舗装診断』
福井工業高等専門学校　　田中　太樹

『県民衛星すいせんを用いた福井県における山地崩壊危険箇所の抽出』
福井工業高等専門学校　　岩腰　祐磨

◎審査員

◯審査員長　鹿田正昭（北陸支部長・金沢工業大学副学長）
◯審査員　伊藤純一（国土地理院北陸地方測量部長）
小原良一（近畿地方整備局福井河川国道事務所　工事品質管理官）
滝波栄治（福井県土木部管理課参事）
辻野和彦（福井高等専門学校教授）
廣田三成（日本測量協会測量技術センター所長）

支部長挨拶（空間情報技術事例発表会）

鹿　田　正　昭

本日は日本測量協会北陸支部令和４年度空間情報技術事例発表会にご多忙のところご出席をいただきありがとうございました。

一昨年は新型コロナ感染症による緊急事態宣言等を受け、事業報告会および空間情報技術事例発表会のいずれも中止となりました。

昨年は感染症対策を万全にするとともに、時間短縮と参加者限定の条件のもとで対面にて実施しました。

今年度もまだまだ感染症の拡散に注意しなければならない状況が続いていますが、時間短縮と参加人数限定の条件のもとに、感染対策を万全にして対面で実施する運びとなりました。参加者におかれましては「密」を避けていただき、感染しない、感染させない、を念頭にご協力をお願いいたします。

空間情報技術事例発表会は、当協会が平成 26 年に公益社団法人に移行し、支部総会が業務報告会に変更になったことを契機に、支部活動の活性化および若い技術者の方々の研鑽の機会と会員法人の技術の向上、本部が主催する空間情報技術事例報告集への投稿を促すことを目的として、各県での持ち回りで開始し、現在２巡目となっています。今年度はここ福井県での開催となりました。

発表会の開催にあたっては、支部役員、事務局および福井県測量設計業協会の方々には大変ご尽力をいただきました。衷心より感謝申しあげます。本日はこの趣旨に賛同して福井県内企業から４名の会員に、また福井工業高等専門学校から２名の学生の方にご発表をいただくことになりました。発表者の方々にはそのご努力に深く敬意を表します。

また、お名前のご紹介を省略しますが、審査委員の皆様方にはよろしくお願いいたします。

北陸地方測量部測量課長の横川 正憲様にはご多忙のところ「公共測量における測量技術への取り組み」と題してご講演をいただきます。重ねて御礼申し上げます。

「空間情報技術事例発表会」は若手技術者の研鑽および北陸支部会員法人の技術力向上を目指しているものであり、多くの企業からの参加を期待しているところです。先ほども述べましたように、一昨年を除く５年間で 30 名以上の方にご発表いただきました。

参加企業の技術力向上と社員の方々の研鑽・コミュニケーション能力向上、プレゼンテーション能力向上のために積極的に参加していただきたいと思います。

審査結果につきましては、講演会終了後、最優秀賞１件および優秀賞１件を発表する予定です。

なお、最優秀賞および優秀賞に選ばれた方には、本部が主催する「空間情報技術事例報告集」への投稿を依頼しております。これは、「空間情報技術事例報告集」に採択されますと、協会がおこなう測量士資格の上位資格となる空間情報総括監理技術者試験の資格要件の「査読付き論文一編」としてカウントされることによります。

入賞者には投稿をお願いしているところですが、今日の発表で満足しておられる方が多いようで、過去の受賞者も含めて「空間情報技術事例報告集」に投稿されることを強く希望したいと思います。選に漏れた方々も自己研鑽のために積極的に投稿していただくことをお願いします。

それでは、時間を最小限にしながら、活発な質疑応答をお願いいたします。

本日はご出席ありがとうございました。

写真集

空間情報技術事例発表会

令和４年度　北陸支部事業計画

１．　行事等実施計画

行　事　名　等	内　　容	時　期	場所
北陸地区測量機器集中検定	北陸地区における測量機器の集中検定（長岡会場）	４月	長岡市
北陸支部役員会	年２回の定例会議	５月、12 月	富山市

公共測量品質管理優秀賞表彰	測量成果の品質確保及び測量会社の技術力向上	７月	福井市
北陸支部業務報告会	会員に対する北陸支部業務説明年１回の定例報告会	７月	福井市
(公社)日本測量協会北陸支部空間情報技術事例発表会	空間情報技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報の共有化を図る	７月	福井市
北陸地区測量機器集中検定	北陸地区における測量機器の集中検定（富山会場）	３月	富山市

２．支部主催講習会計画

講　　習　　会　　名	開催予定	会　　場
測量･地図の基礎講座 測量数学・誤差学の基礎（Ｗｅｂ）	４月２１日	富山市（測量会館）
路線測量・用地測量	４月２６日	金沢市 （地場産業振興センター）
ネットワーク型 RTK による基準点測量	５月２５	新潟市（ユニゾンプラザ）
ＵＡＶ取得データを用いた写真測量と地形図作成	６月８日～９日	新潟市（ユニゾンプラザ）
ＵＡＶを用いた空中写真測量	７月２７日	金沢市 （地場産業振興センター）
ＵＡＶ取得データを用いた災害地の計測調査	８月３日	富山市（市町村会館）
GNSSS による基準点測量	８月３０日	富山市（市町村会館）
電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びＧＮＳＳ水準測量	９月９日	金沢市 （地場産業振興センター）
測量・地理空間情報技術者の為のアドバンスセミナー	１０月４日	新潟市（ユニゾンプラザ）

～ＵＡＶを中心とした複合的な計測とその利用～（ビデオ講習）	１１月２９日	金沢市 （地場産業振興センター）
TS による３・４級基準点測量	１２月７日	福井市（国際交流会館）
測量士答案練習セミナー	３月６日～１０日	富山市（測量会館）
測量士補答案練習セミナー	３月２２日～２５日	富山市（測量会館）

参考：本部主催

講　　習　　会　　名	開催予定日	会　　場
基準点測量Ａ課程（基準点測量）	５月３０日～６月５日	富山市（測量会館）
基準点測量Ｂ課程（水準測量）実習有	６月２７日～７月１日	富山市（測量会館）
路線測量設計（１）	５月１６日～１９日	富山市（測量会館）
路線測量設計（２，３）	９月１２日～１６日	富山市（測量会館）
防災調査（１）　東京＋リアルタイム	８月１日～５日	試験会場　富山市
防災調査（２）　東京＋リアルタイム	１１月７日～１０日	試験会場　富山市

３．会員サービス

①　基準点測量成果謄抄本交付申請代行事務
②　正会員に対する測量ＣＰＤ登録代行事務（無料）
③　北陸支部報のウェブサイト刊行　　年２回（７月及び１月）
④　メールマガジン「北陸支部通信」の配信　　原則月１回

行事等の報告

◯支部役員会

役員会において、７月１２日の「北陸支部業務報告会」、「空間情報技術事例発表会」及び「懇談会」について、それぞれの内容を役員に説明し、意見を伺いま

した。
　事務局から北陸支部業務報告会の内容及び空間情報技術事例発表会の流れについて、説明を行いました。
　また、令和４元年度の北陸支部役員については、各県の（一社）県測量設計業協会役員の改選等があったことから新しい役員を報告しました。

◯「とやま地図作品研究会」総会を開催

　第１３回とやま地図作品研究会総会を６月１４日（火）に測量会館で開催しました。
　スケジュールは、６月に県内小中学校に募集案内とチラシを配布し、９月の一ヶ月間作品を募集し、１０月に一次審査、本審査会を開催して入賞作品を決定します。１１月２３日～２７日にファボーレで入賞作品の展示会を開催し、表彰式は展示会の初日（２３日）に同会場で行うことにしています。
　また、今年も最優秀作品を国土交通大臣賞・文部科学大臣賞候補作品に推せんし、その他優秀作品については、全国児童生徒地図優秀作品展に出展することにしています。

◯「基準点測量Ａ課程講習会（基準点測量コース）を開催

　令和４年５月３０日（月）から６月５日（日）までの間、富山市の「測量会館」において、『基準点測量Ａ課程講習会（基準点測量コース）』を開催しました。
　最新の測地測量に関する高度な知識と理論並びに提案、管理、応用能力等の幅広い技術を付与し、主任技術師クラスの技術者を養成するものです。認定試験科目の「測量平均計算法」「基準点測量」「水準測量」「測地学の基礎」「ＧＮＳＳの理論」＋ｅラーニング科目の７科目に合格すると地理空間情報専門技術者として認定・登録が可能となります。この地理空間情報専門技術者は、測量発注機関からもその総合能力を高く評価されている資格です。
　今回のこの基準点測量Ａ課程講習会（認定講習会）は、会員の皆様方からの強い開催要望を受けて、北陸で初めて開催されものです。従来この講習を受講するためには、東京、大阪等の遠方まで行かなくてはならなかったこと等から、地方開催としては、多くの方（１５人）が受講されました。

◯「ＵＡＶ取得データを用いた災害地の計測と調査」講習会開催

　令和４年８月３日（水））に富山市の「市町村会館」において、『ＵＡＶ取得データを用いた災害地の計測と調査』講習会を開催しました。
　点群ビューワ　Mierre 体験版のソフトウェアを用いて実習形式で行いました。実際のサンプルデータを使用し、ＤＥＭの可視化、地形判読、踏査目的、ランダム点群の可視化をクラウド処理を体験しました。また、ＵＡＶによる災害地の計測調査事例（大分県耶馬渓災害での緊急計測対応）によるデータ解析、再分析、データを再統合したＳ－ＤＥＭの説明等を学習しました。受講者からは、

実践的であり、災害対応の計測とクラウド処理までの処理まで一連の流れが理解できた。」と非常に評価の高い講習会でした。

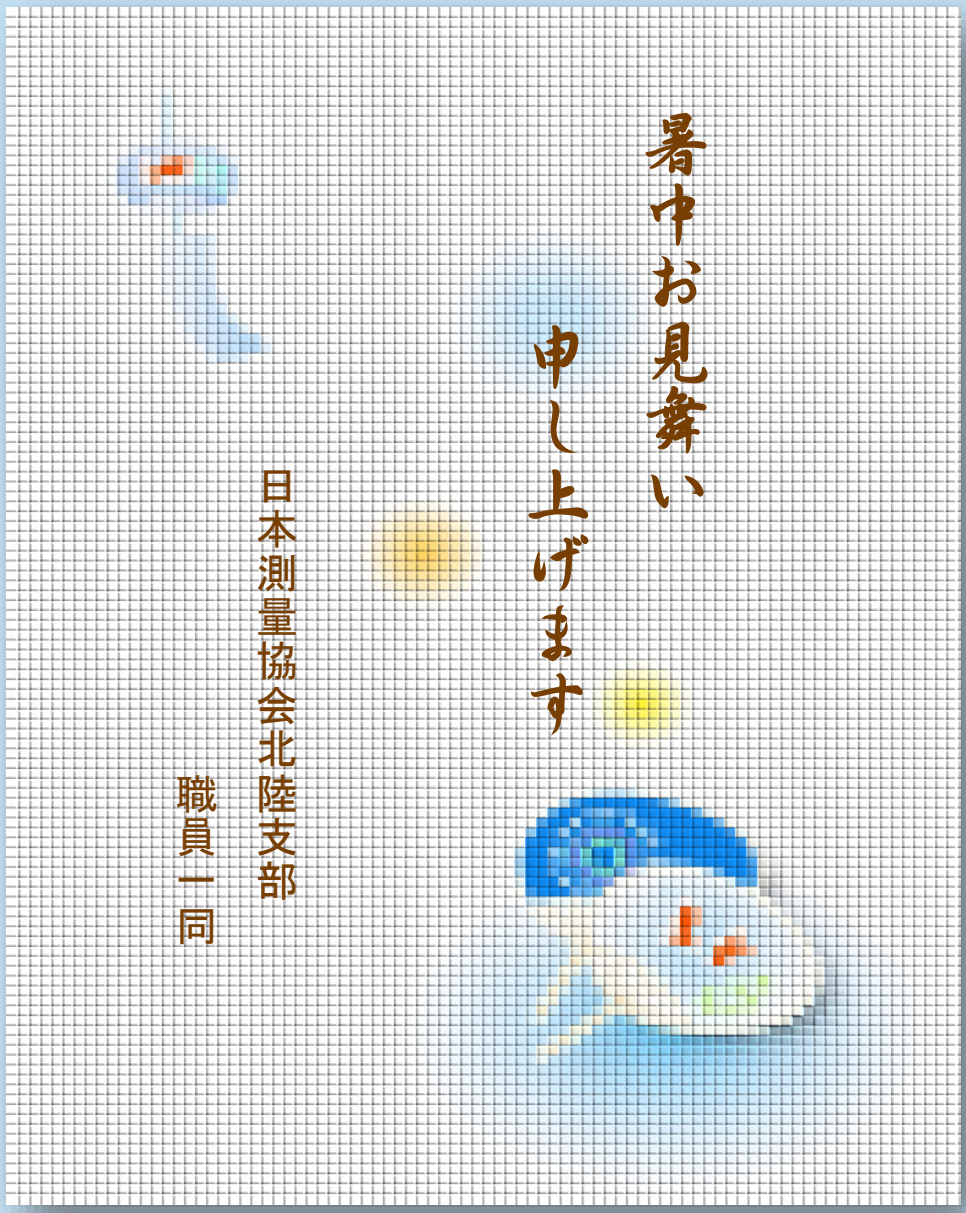
会員の増減状況

会員種別	R3.7.31	R4.7.31 現在	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正　会　員	５６２	５４５	-１７	２５４ （－１１）	１０３ （－４）	１３６ （－１）	５２ （－１）
準　会　員	１	０	－１	０ （－１）	０ （±０）	０ （±０）	０ （±０）
特別会員	１７５	１７３	－２	８１ （－１）	３９ （±０）	３３ （－１）	２０ （±０）
計	７３５	７１８	-２０	３５９ （－１３）	１５３ （－４）	１４３ （－２）	７９ （-１）

測量CPD及び技術者継続教育証明制度（SUCCESS）の登録、更新を行いましょう。

日本測量協会の正会員が、過去最高の１３,000人を突破しました。また、測量ＣＰＤの登録者は、２５,000 人を越えています。

北陸支部においても正会員は、増加しており令和４年７月末で５６２名に達しています。



編集・発行　　**公益社団法人　日本測量協会　北陸支部**

〒939-8094　富山市大泉本町 1-12-14　（測量会館内）

◯　事　務　局　・TEL 076（422）3305　・FAX 076（422）3403

E-mail　hokuriku@jsurvey.jp

◯　技術センター　・TEL 076（421）5445　・FAX 076（422）3403

E-mail　hokuriku@geo.or.jp